

⑮ 「ヒポクラテスの木」の碑



この碑は、弘前大学医学部基礎研究棟正面玄関に向かって左手歩道の脇に設置されています。昭和62年（1987）7月、弘前大学医学部地区緑化計画委員会と弘前大学医学部鵬桜会（同窓会）により建てられ、碑の傍らに2本のプラタナスの木が植樹されました。碑面には、このプラタナスの木が「ヒポクラテスの木」といわれる由来が刻まれています。碑文の書は、当時弘前大学医学部鵬桜会会長であった佐藤悌二先生によるものです。

〔引用文献〕

1. 弘前大学創立50周年記念事業実行委員会50年史編纂専門委員会（編）（1999）. 弘前大学五十年史資料編, 408.
2. 本間正行（2004）. 学園だより キャンパス散策「弘前大学構内の記念碑」, 143, 32.

ヒポクラテスの木

このプラタナスの木二本は、医学の祖ヒポクラテス（紀元前四六〇—三七七年ごろ）にゆかりの地、ギリシャのコス島より、一九五五年山形市の篠田秀男博士が持ち帰った種子から育ったものに由来し、「ヒポクラテスの木」と広く呼ばれている。

ヒポクラテスは晩年、この木の下で医学を講じたという。

その「ヒポクラテスの誓い」は今でも、「医の原点」といわれ、医療や医学にたずさわるものにとっては、最高の箴言集とされている。

一九八七年七月一日

弘前大学医学部地区緑化計画委員会

弘前大学医学部鵬桜会（同窓会）